

# KADOMA ROTARY

## Club Weekly Bulletin



### 門真ロータリークラブ

事務所 〒570-0038 守口市河原町 10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口 5F

TEL 06-6993-0107 FAX 06-6993-0108 E-mail office-kadoma@silk.plala.or.jp

例会 毎週木曜日 12時30分 於 ホテル・アゴーラ大阪守口

会長 大倉 基文 幹事 下田 一彦 会報広報委員長 滝井 稔元 創立 1969年4月17日



2024-25年度 RI テーマ

「ロータリーのマジック」

RI 会長 ステファニー A.アーチック



門真ロータリークラブ

19 DECEMBER 2024 No. 2537

2024年12月12日 例会報告  
第2536回 例会

次回例会 1月9日 (木)  
新年の挨拶 / 賀詞交換  
例会後 1月度理事会 開催

#### 出席報告

会員	数 (出席免除会員1名含)	21名
名誉会員		4名
本日の出席	(出席免除会員1名含)	17名
欠席		4名
出席率		80.95%
11月14日の出席	(出席免除会員含まず)	15名
メーキャップ後結果		16名
出席率		80.00%

#### ニコニコ箱

田中 義昭	会員	無事退院できた喜びに
橋本 一行	会員	ロータリー財団(年次寄付)へ
"	"	(恒久基金)へ
下田 一彦	会員	ロータリー財団(年次寄付)へ
"	"	(恒久基金)へ

#### 会長挨拶

大倉 会長



皆さんこんにちは。12月に入ってあっという間に日が過ぎていきます。皆さんも忘年会やいろんな年末行事あると思いますが、昨日私も恒例のある会の忘年会に参加させていただきました。それはゴルフを楽しむ仲間の集まりで長く続いており、今回は第100回目のゴルフコンペでした。記念コンペということで私も力が入り、これまで一回も優勝したことないので優勝したいと思い、前日も打ちっぱなしに行っ

てきました。それが功を奏してスコアが91で回ることができました。しかも一回も優勝してないのでハンディキャップが少しずつ上がっていき24点ぐらいもらえるはずだったんです。「これは優勝できるかも！」と思っていたら、同じ組で回ってる人が後半37点で上がってきまして優勝は持ってかれてしまいました。このように100回も続けてると、皆が和気あいあいと本当に家族のようになって素晴らしいゴルフコンペでありました。今、門真ロータリークラブでも若手の皆さんが中心にまたゴルフコンペを企画を頂いていますが、ぜひともこれも恒例行事になって、いつか私たちが亡くなった後にも続いているようなゴルフコンペになればいいなと思いながら参加させていただきました。

また12月といえば、いよいよ来週にはクリスマス家族親睦会があります。多くの催し物がある中で、クリスマス会といえばロータリー！と思うぐらい楽しい行事です。いつもいろんな方の協力を頂いて、楽しく過ごさせていただいています。過去には私のサクスの演奏をさせてもらったこともありますし、皆さんいろんな余興の機会がありました。そして何よりもあのプレゼント抽選会のビンゴゲームが楽しみに家内も出席しますので、何か良いものを頂いて帰れるといいなと思っています。

あっという間に日が経っていきますので、もう正月の準備として、例えば年内の大掃除とかいろんなことを計画していかないといけない段階になっているかと思っています。皆さんそれぞれの家庭でどんな年末年始を過ごされるかにもよりますが、以前私が酒屋をやっ

いた時代は年末年始という年末12月31日の除夜の鐘になるまでは本当に忙しくしていました。そういう意味では橋田さんはこれからが大変忙しい時期を迎えるのではないかと思います。皆さんそれぞれお体を大切に、お互い無事に楽しく来年を迎えるように準備をしていきたいと思わせて頂きました。

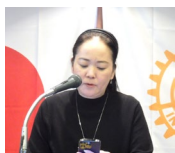
#### □ 幹事報告 下田 幹事

1. 12月度理事会 報告 (会報第2536号3p参照)
2. 下半期の年会費 請求について  
各会員ポストに請求書を配付していますので お振込みをお願い致します。
3. 今後の予定  
12/19 クリスマス家族親睦会  
12/26・1/2 休会  
1/11 新年の挨拶/賀詞交換(時間は通常どおり)  
例会後「理事会」開催

#### □ 委員会報告 国際奉仕委員会 大田委員

##### 国際大会のご案内

今年度は2025年6月21日より25日までの5日間の日程で、カナダのカルガリーにて開催されます。国際大会の登録ですが、早期割引の申し込みが12月15日までとなっております。登録料は12月15日までは525ドル、16日以降からは625ドルと料金が上がりますので、参加を検討中の皆様はお早目のご登録をお勧めいたします。



#### □ 卓話「米山奨学生アシシュ君のその後」藤田正明

私が会長の時2017/5/11に、会長の話でネパールのアシシュ君が奨学生になった経緯をお話しました。その後7年経って今年の9/4に再会しましたので、その時に感じた事をお話します。



アシシュ君は2017当時、カトマンズの実家からインドの工科系大学に留学する4回生の学生で、卒業後日本の工学系の大学院に進学したいとの話が、大阪市立大学医学部長から工学部教授を介して私の所に来ました。当時私は大阪府立大学で文科省のプログラムに大阪市立大学と共同で参加しており、双方の博士課程の学生を指導していたことがこの繋がりようでした。内容を聞いてみると、彼氏のフィアンセのサマンサさんが大阪市立大学の医学研究科で博士課程の研究者で留学しており、彼女が震源地でした。

彼女に会って話を聞いてみるとアシシュ君の希望もそのように将来は日本の企業で働きたいとの意思がありました。彼女はネパールの医師で日本に留学しており、二人は結婚したいが彼女が年上でもあり、家族からの了承が得られていない状況でした。結婚には立ち入らないがアシシュ君の将来の進学や就職の希望を消し去ることは出来ないと判断して、日本への留学の橋渡しをすることにしました。

大阪府立大学で親交のある教授に進路を相談して、情報系の研究室に入試合格を条件に内諾を頂きました。しかし学生課では海外在住のまま日本の奨学金を受け取れる案件は殆ど無いとの事でした。その時の課題を整理すると、①受入れ研究室の確定、②日本での生活費の確保、③日本語の習得、④海外在住のまま在留資格証明書やVISAの取得でした。

大学での過去の奨学金取得内容を確認すると、海外在住のままでは難しいのは事実でしたが、ロータリークラブからの奨学生は毎年4・5名程度入学していることが分かりました。一方で米山奨学会のホームページからサマンサさんが特別に海外在住のまま米山奨学生に応募できるプログラムを見つけて来ました。

早速米山奨学会の本部に連絡して要望を伝えましたが、英語で引き受けてくれるクラブの了解が必要との事で、2640地区の米山委員長に連絡して英語ができるカウンセラーを探してもらうことになりました。

結果引き受けてくれるクラブが見つかり、アシシュ君も来日して大学院の入試も終え、米山奨学会の面接等の試験もパスする事ができました。今は東京で大手の情報システム会社で勤務して5年、サマンサさんも東京の医大で研究職を見つけて一緒に暮らしている様です。

この一連の話は、本人たちの努力だけでは無く、いろんな方々の助言や応援があって初めて成し遂げられたように思います。大学の研究室、2660地区と2640地区のロータリークラブ、米山奨学会、引き受けてくれた堺の青陵ロータリークラブなど多くの関係者が一つになり繋がりました。これがロータリアンの良い所ではないかと今思っています。

今回の彼らの訪問は、日本の企業で5年経過して、職場の人間関係や将来のことなどの悩みや相談もありました。アシシュ君は職場のインド人やネパール人の取りまとめをやっているそうで、後5年間は頑張れと激励しました。

#### \*\*\* 例会スナップ \*\*\*

